



滋賀県草津市立草津中学校

令和3年5月18日(火)

「いのちがやき 心豊かな生徒の育成」

～ひとを大切に ひとつを大切に～

5月1日現在 全校生徒数691人



例年より早い梅雨入り

気象庁は東海地方とあわせて5月16日「近畿地方は梅雨入りたと見られます」と発表しました。

平年は、6月6日頃ですが、今年の梅雨入りは1951年の統計開始以来最も早い梅雨入りようです。



入学式の様子

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日に実施した入学式は、来賓として草津市教育委員会 教育部長 南川 等様にお越しいただき、新入生、保護者(1名)および教職員のみで参列で行いました。

新年度が始まり1か月が経過して、1年生も草津中学校の一員として張り切っています。

休み時間、1年生の生徒数名に「中学校生活はどうですか?」と聞きました。すると、「勉強が難しくなった。」「違う小学校の人と友だちになった。」「お弁当をつくるのが楽しい。」などの答えが返ってきました。

私(高野)は思わず「お弁当を自分で作っているんだ。すごいね。3学期からは給食が始まるから残念ですね。」と言いました。

中学生になったら、自分でお弁当を作る。2年生になったら、そして3年生になったら…と、それぞれ努力目標を掲げていることでしょう。一度、自身の生活を振り返って、達成できているかどうかチェックしてみることが大切です。

新型コロナウイルス感染症

第4波の到来で、まだ終息の見通しがつかない今日この頃です。ワクチン接種が始まりましたが、なかなか私たちのところまで届いてこない状況です。ワクチンの量、接種会場や医療スタッフの確保など課題が浮き彫りになってきています。また、感染症への対応は、状況に応じてどんどん変わってきています。

昨年2月末、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、突然、臨時休校となりました。そして、何とか5月中旬から分散登校を始め、6月に学校再開となりました。

現在、文部科学省は、学校設置者に対して一律に臨時休校を求めるのではなく、地域の感染状況に応じた感染防止策の徹底を要請するとしています。そこで、草津市では、児童生徒に感染者が出た場合、学年休業を基本としています。

家庭感染が増加しており無症状病原体保有者もおられることから、日常的に一人ひとりがさらに健康管理に注意を払いたいものです。しかし、だれが感染してもおかしくない状況です。自ら感染しようと行動している人はいません。皆さん、いたわりの心や互いを思いやる優しい気持ちをもって、この厳しい難局を乗り越えていきましょう。

<令和3年度、生徒の状況>

1年 7クラス 226人
2年 6クラス 215人
3年 7クラス 250人
特別支援学級 4クラス (21人)
計 691人
(5月1日の前年比:-41人)

重要

5月20日、21日に県内各地で第58回滋賀県中学校春季総合体育大会が開催されます。どの競技も無観客での開催になりました。中体連から緊急連絡と題し、改めて通知がきました。

保護者の皆さま、感染拡大防止のため、またスムーズな競技運営のために、そして「約束を守る」という子どもたちの手本となるよう、ご協力ください。どうかお願いします。